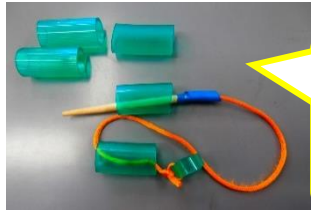


手指訓練「ビーズとおし」の教材

今回は引き続き、自立活動における手指訓練について、本校で実践している「ビーズ通し」を紹介します。「ビーズ通し」は、左右の手指の動きを連動させて行う訓練として有効です。教材の工夫次第で難易度を変化させることができます。個々の課題に合わせて教材を作り、繰り返し取り組むことで、少しずつ力がつき、手指の動きの向上に繋がっています。

～本校での自立活動の実践より③～

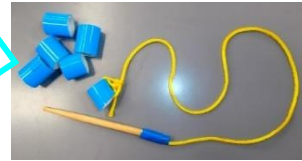
☆ホース通し①☆



透明のホースにすると箸が通ったことが分かりやすいです。

☆ホース通し②☆

2 cm位の輪切りにしたものを使用しています。



- 1 箸を持ち、ホースに通す
- 2 もう片方の手で箸を持つ
- 3 ホースをストンと落とす
- 4 箸を持ちかえる

利き手で竹の箸を、もう片方の手でビーズに見立てた輪切りホースを持ち、一つずつ順に通していく活動です。細かな動きが得意ではないお子さんも比較的容易に通すことができます。箸が通ったことが分かるように透明のホースを使うと良いようです。慣れてきたら、通すホースの数を増やしていきます。

- 材料
- ・ホース
 - ・竹の箸
 - ・紐
 - ・カラーテープ

ねらい

- ・紐に通す経験を積む
- ・手元を見る
- ・左右の手の動きへの意識を高める

①より短く切ったホースを使用します。左右の手の動きが連動して動くようになるまで、通す数を少しずつ増やしていくとよいようです。手の動きがスムーズになり、長く通せるようになると、達成感が得られます。

ねらい

- ・左右の連動した手の動きを獲得する
- ・手元を見る
- ・長く通すことができた達成感を味わう

- 材料
- ・ホース
 - ・竹の箸
 - ・紐
 - ・カラーテープ

☆ウッドビーズ通し①☆

紐の先にテープを巻いて尖らせて固めます。



手芸店で販売している、木製ビーズ（直径 15mm程度）を使用します。手元をよく見て、紐の先を穴に通したら、反対の手で紐をつまみ、ビーズを落とす動きを繰り返します。ビーズや紐の長さはお子さんに合わせましょう。

ねらい

- ・左右の連動した手の動きを獲得する
- ・指先で細かな動きができる
- ・手元を見る

- 材料
- ・木製のビーズ
 - ・とじひも
 - ・テープ

☆ウッドビーズ通し②☆

見本のビーズ



見本のビーズを準備します。2色を交互に通したり、3色にしたり、様々な課題を作ることができます。見本を見ながら注意深くビーズを選んで通していく活動です。見本と比べることで確かめもできます。

ねらい

- ・集中力をつける
- ・指先で細かな動きができる

- 材料
- ・木製のビーズ 各色
 - ・とじひも

指先に不器用さがあると、関節で支えたり作業をしたりすることがあります。確実に指先でつままないといけない物や大きさ、形状の工夫が大切です。子どものクセに着目して物を選ぶといいですね。

